

軒下の家

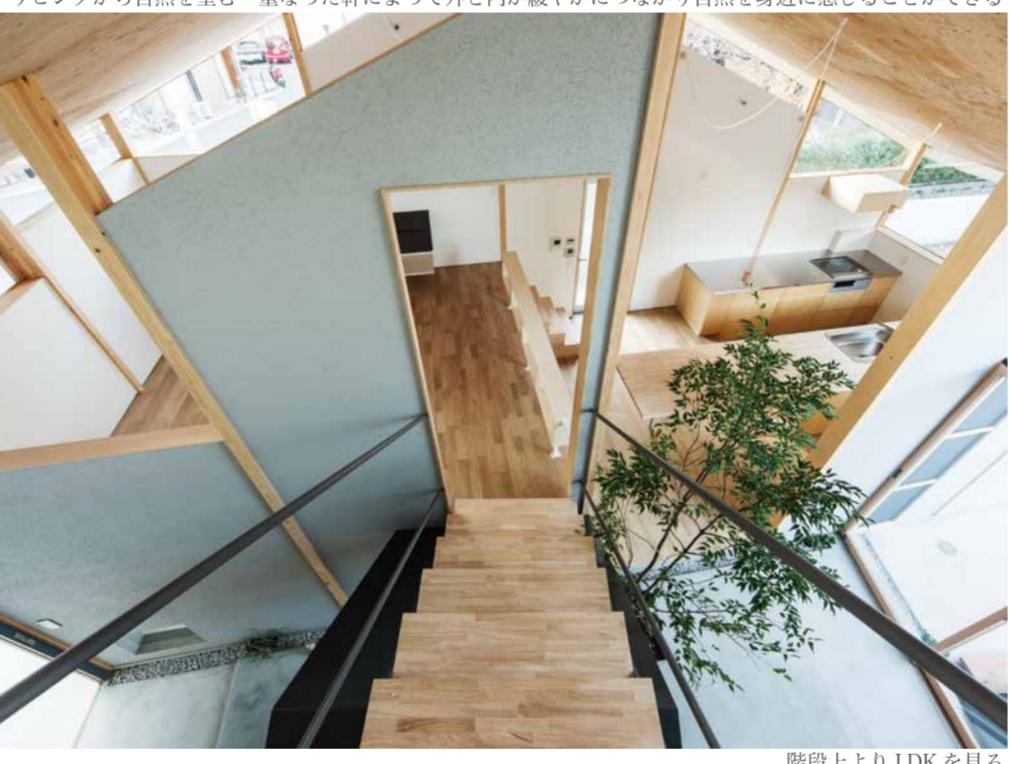
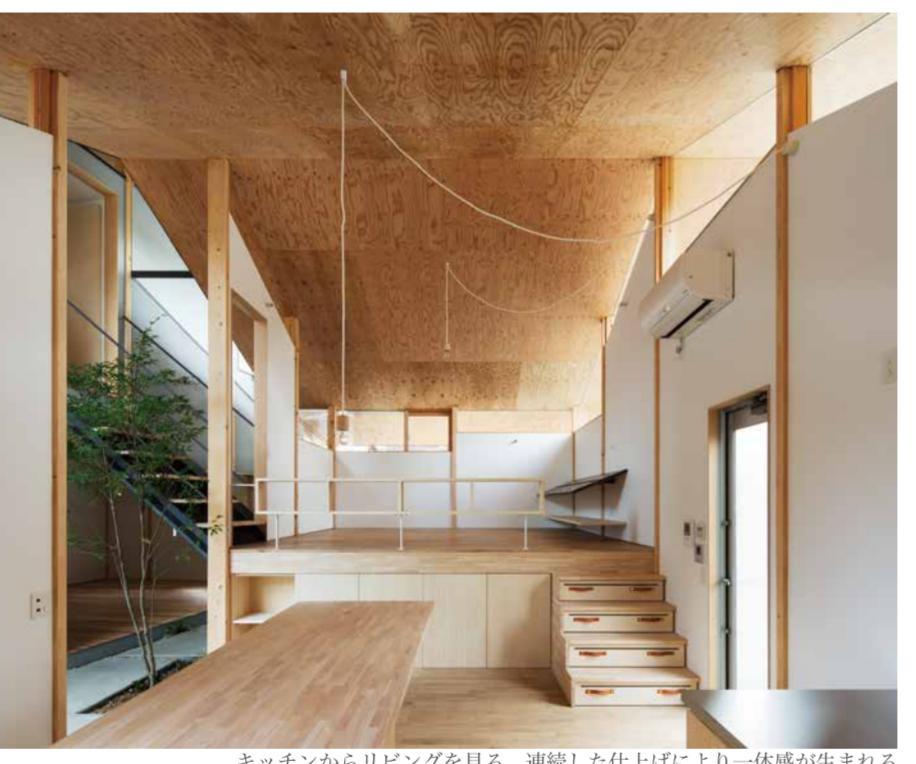
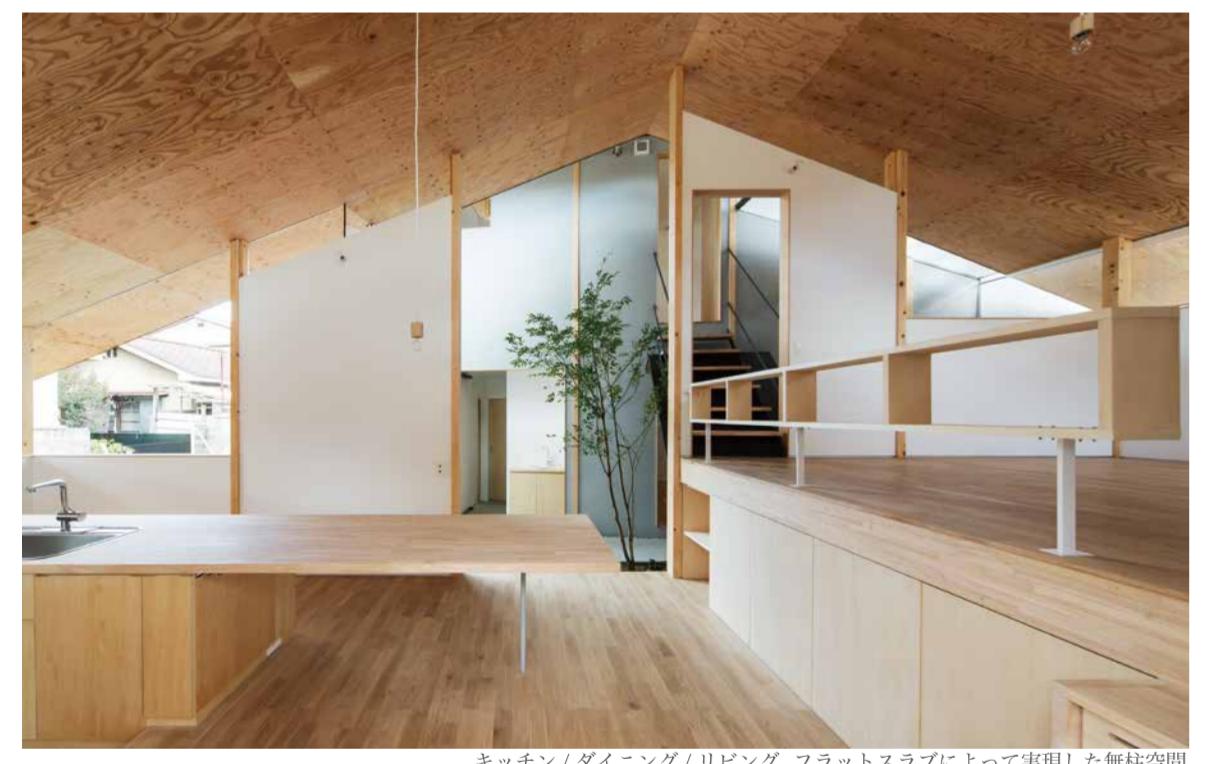
軒の下で自然と共に住もう



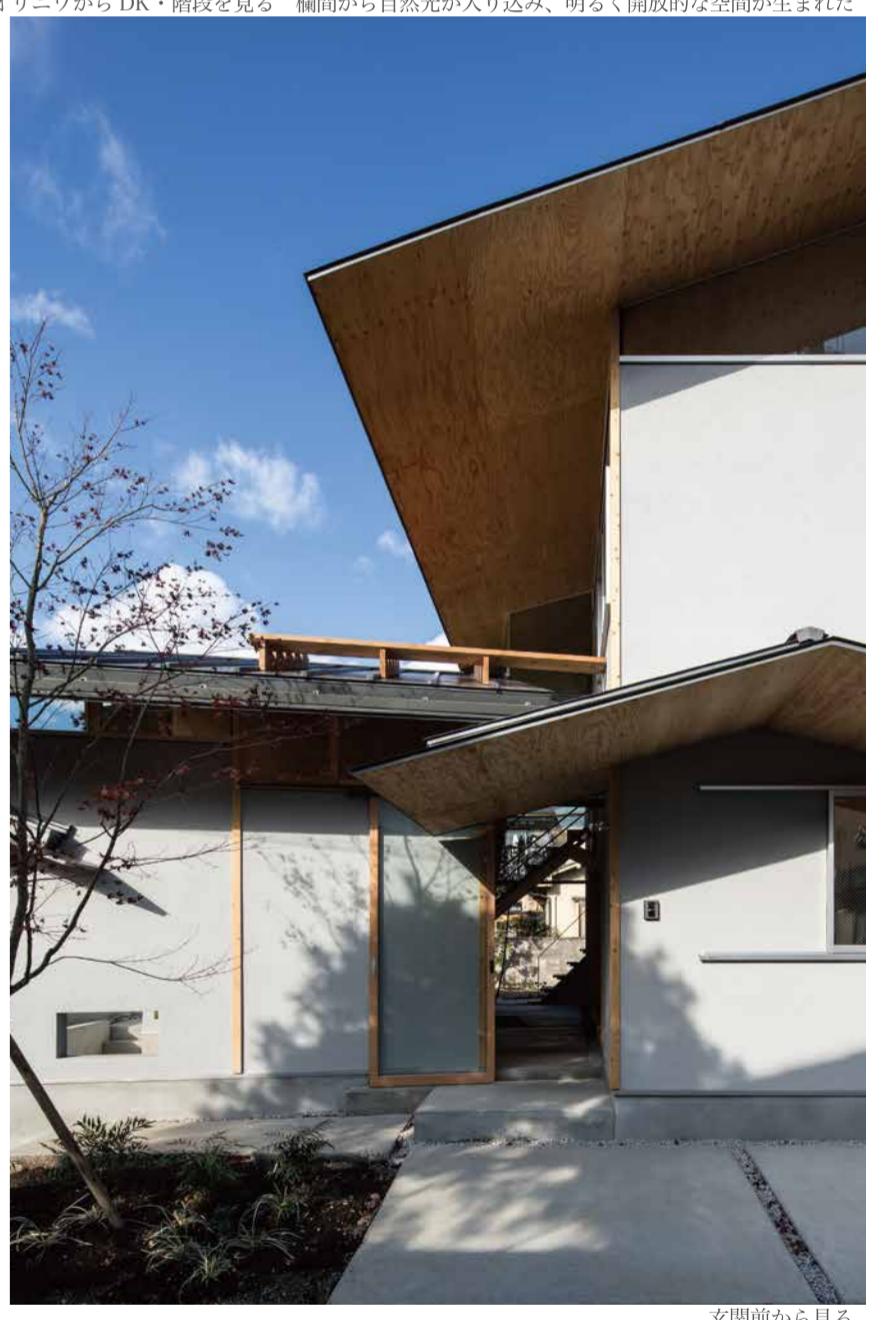
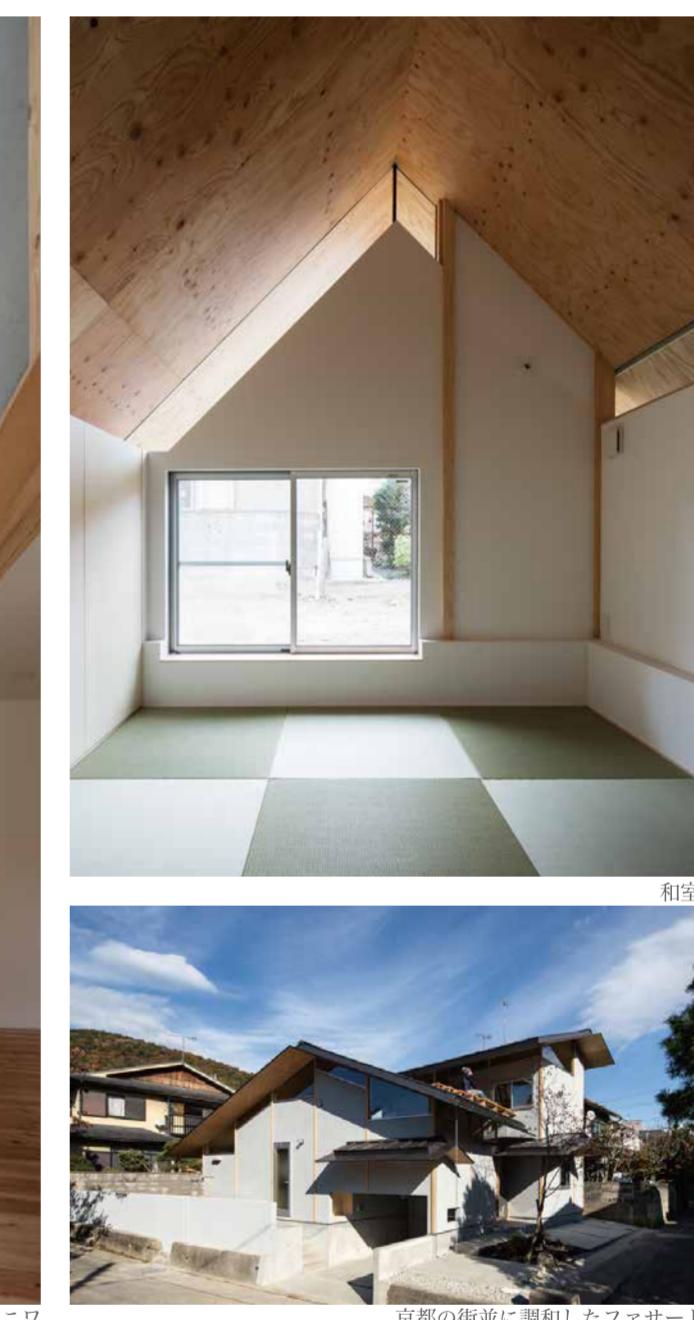
トオリニワからDK・階段を見る 標間から自然光が入り込み、明るく開放的な空間が生まれた

【建物概要】

所在地：京都府京都市
構造：木造軸組構法
階数：2階建
敷地面積：203.31 m²
建築面積：84.45 m²
延床面積：119.88 m²



リビングから自然を望む 重なった軒によって外と内が緩やかにつながり自然を身边に感じることができる



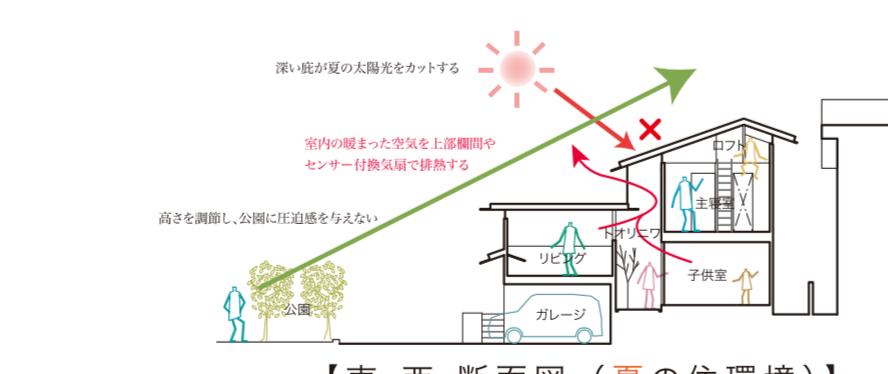
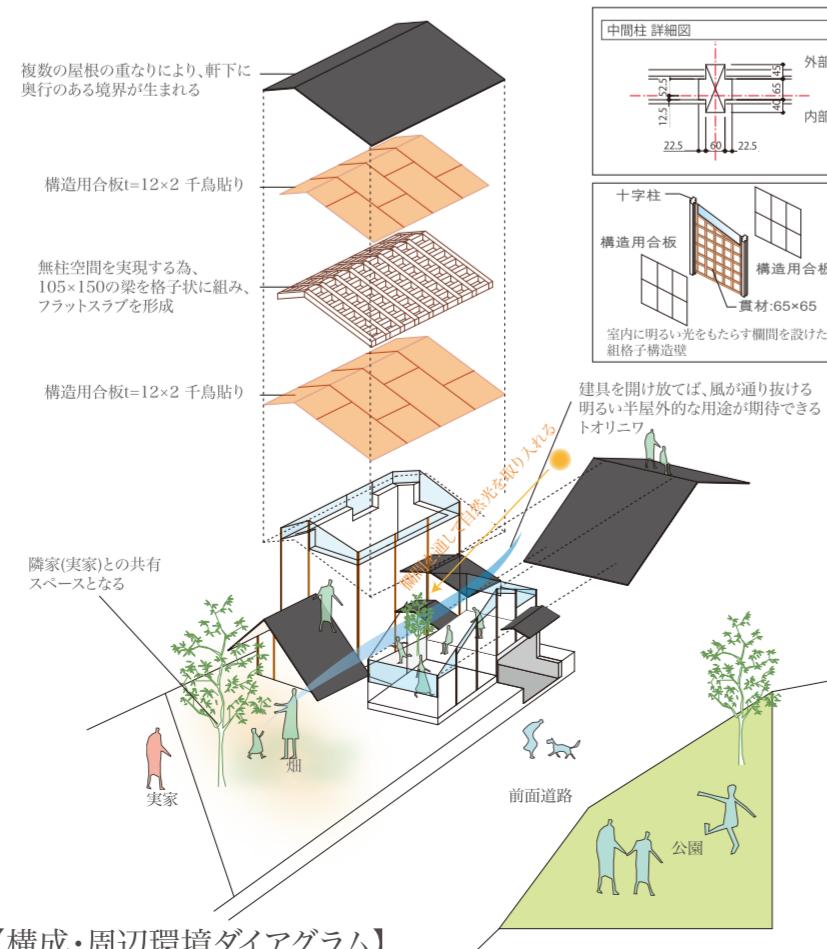
玄関前から見る

【クライアント要望】

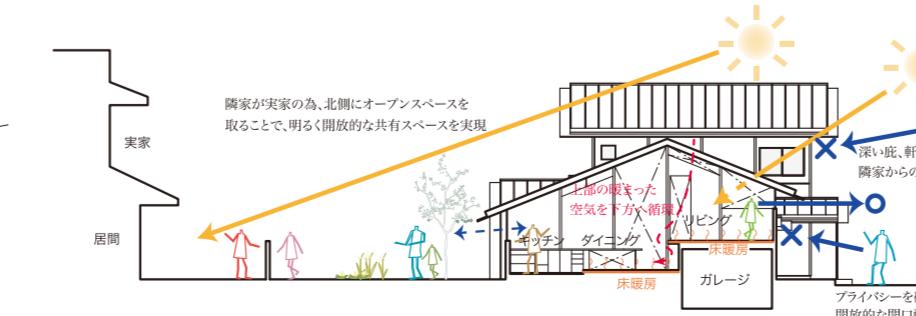
- 明るく開放的な空間にしてほしい
- 北側の実家（隣家）とのつながりをつくりたい
- エアコンにできる限り頼らず、夏は涼しく、冬は暖かく過ごしたい

【コンセプト】

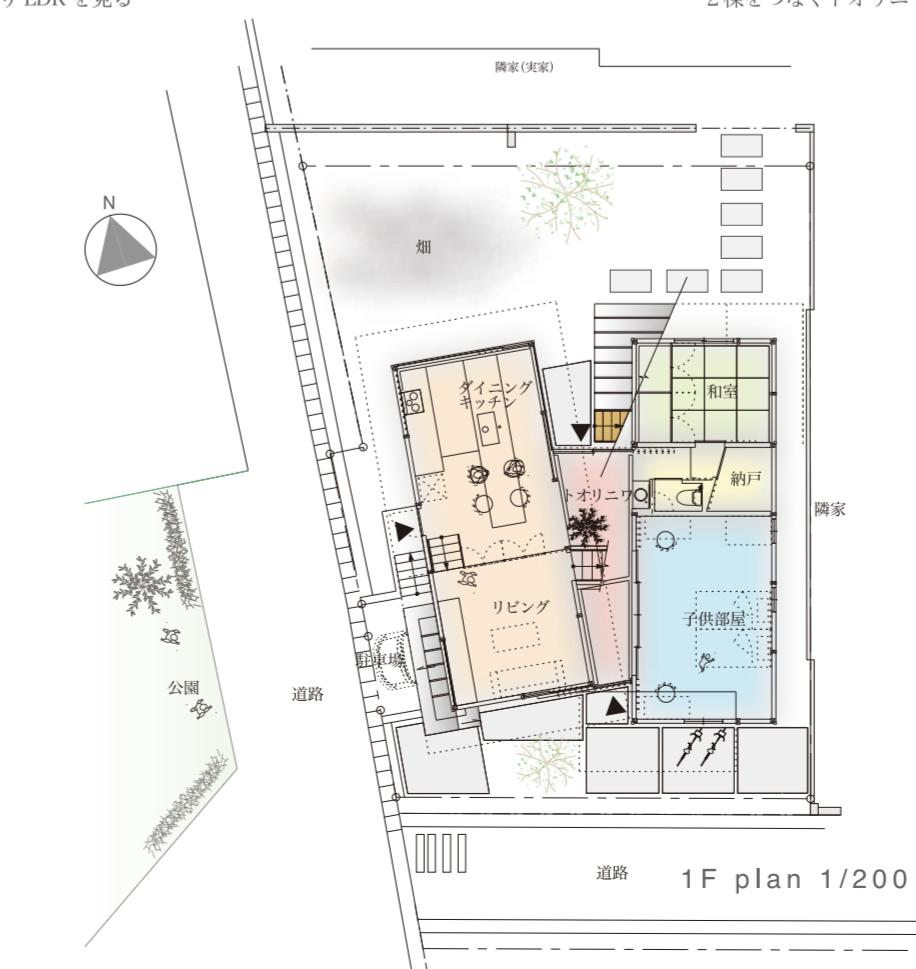
京都の街並に調和する屋根の重なりが特徴的な住宅を計画。その軒下空間に生活空間がからみつくことで、建物内部から外部へ向かって様々な用途が発生する奥行きある境界を生み出し、内外を緩やかに連続させる。重なり合った軒は、夏の直射光を遮断し冬の直射光を取り込み、快適な室内環境を実現させる。また、十字柱と格子耐震壁によって実現する欄間からプライバシーが確保された光がもたらされ、フラットスラブによる無柱空間が開放的な空間を創り、照明に頼らなくても明るい室内空間となった。そして、2棟に分かれた棟をつなぐトオリニワは、空気循環の機能と半屋外的な要素を持ち、トオリニワの建具を開け放つことによって、外部空間として北側の開放的なオープンスペース（庭）と繋がる。それにより、室内に居ながらにして、まるで外にいるかのような感覚を味わうことが可能となる。やわらかい陽射しや心地よい風を感じながら、年間を通じて色々な感覚を通して自然を感じるような、四季の移り変わりを楽しむ生活をおくことができる。



【東-西 断面図（夏の住環境）】

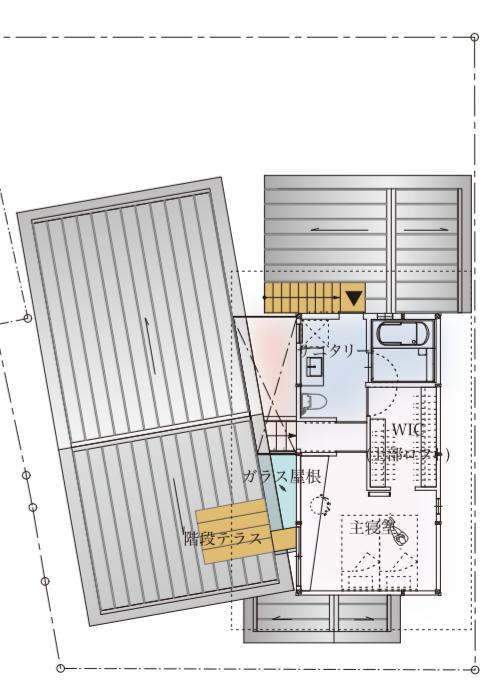


【南-北 断面図（冬の住環境）】



【1F エлементリスト】

LDK	床 / 杉フローリング (リビング: 床暖房対応 ナラフローリング)
壁 / ビニルクロス	
天井 / 構造用合板 木肌美人塗装	
子ども室	床 / 杉フローリング 壁 / ビニルクロス
トオリニワ	床 / モルタル金コテ押え 壁 / シンク吹付
和室	床 / 緑なし半畳置 壁 / ビニルクロス
納戸	床 / モルタル金コテ押え 壁 / ビニルクロス



【2F エлементリスト】

寝室	床 / 杉フローリング 壁 / ビニルクロス 天井 / 構造用合板 木肌美人塗装
W.I.C	床 / 杉フローリング 壁 / ビニルクロス 天井 / ビニルクロス
サニタリー	床 / Pタイル 壁 / ビニルクロス 天井 / 構造用合板 木肌美人塗装

【概算予算】

2,600万円